

調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 18 日

瀬戸市議会議長 長江 秀幸 様

議員名 山田 治義 

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 元年10月30日から10月31日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会議長会 研究フォーラム in 高知	
会場名（会場所在地）	高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばさんセンター	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	フォーラムのテーマは、高知が生んだ国民的英雄である坂本龍馬の船中八策にならった「議会活性化のための船中八策」として、現状の課題でもある議会への多様な人材の参画や、そのための制度改正要望や、さらには議会の権能強化を図ることなどについて情報交換や意見交換が行われる。 またこれからの議会像・議員像についても議論される。 本市議会の課題解決に向け、先進事例や各界から招かれた講師の意見を参考に、自身の議員活動向上のため参加する。	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	富田宗一・小澤勝・西本潤・長江公夫・三木雪実・戸田由久・宮藺伸仁・柴田利勝・高島淳・朝井賢次	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 2年 3月26日

瀬戸市議会議長 様

議員名 山田 治義



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 元年 10月30日から10月31日まで (1泊2日)
調査先・研修名	第14回全国市議会議長会研究フォーラム
会場名 (会場所在地)	高知県高知市布師田 3992-2 高知ちばさんセンター
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	フォーラムのテーマは、高知が生んだ国民的英雄である坂本龍馬の船中八策にならった「議会活性化のための船中八策」として、現状の課題でもある議会への多様な人材の参画や、そのための制度改正要望や、さらには議会の権能強化を図ることなどについて情報交換や意見交換が行われる。 またこれからの議会像・議員像についても議論される。 本市議会の課題解決に向け、先進事例や各界から招かれた講師の意見を参考に、自身の議員活動向上のため参加する。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
基調講演 「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」 中島 岳志氏 (東京工業大学リベラルアーツ研究客員教授) パネルディスカッション 「議会活性化のための船中八策」 高部 正男氏 (市町村職員中央研修所学長) 横田 響子氏 (株式会社コラボ代表取締役・お茶の水大学客員教授) 古川 康造氏 (高松丸亀町商店街振興組合理事長) 田辺 剛氏 (高知市議会議長) 課題討議 「議会活性化のための船中八策」 事例報告者 滝沢一成氏 (上越市議会議員) 久坂くにえ氏 (鎌倉市議会議長) 小林雄二氏 (周南市議会議長)	

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

基調講演では、「現在の政治の流れを読み解き保守といえども政治のマトリクスから見ると考え方が変わってきており、リベラルに近づいてきている。また、野党が自民党と対抗し、国民から支持を得るためには、より現実的な選択をしていく必要がある。」との説明は、わが国の政治をより良くするための方向性を示唆するものであった。

パネルディスカッションでは、高部氏からは「行政監視の機能強化を重視」することや「決算認定から提案し予算に反映させるような取り組み」を提案された。

古川氏は、「丸亀のまちづくりにおいては議員の力を借りて成しえた事業であり、今の議員はよくやっている。また行政視察においても良く勉強している。」そして「議会から市民に近づいていき意見交換会を頻繁に開催すること」を提案された。

横田氏・田鍋氏の発言には魅かれるものがなかった。

課題討議において上越市では、「行政評価資料をネット公開している」こと。鎌倉市の久坂議長は自ら出産を経験され、「出産議員ネットワークを取りまとめ、仕事と家庭の両立支援のためのインフラや議会文化の整備について提言をしてきた」、また、周南市からは「合併後議会改革を進め、所管事務調査を閉会中に3委員会で27項目にわたり59回開催した」との報告を受けたが、いずれも先進的な取り組みとして評価でき、本市議会においても参考にすべき点である。

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

基調講演からは、自らの考え方に柔軟性を持つことの指摘だと考える。

本市においても議会改革を進めていく中で、決算認定については予算に反映するよう提言をしている。今後さらに、充実した決算認定をするためにも行政評価書は必要であり、理事者側に提出を求めている。

委員会活動の重要性は認識しているが、今後もより充実した委員会となるよう努めていきたい。